

令和6年度 江戸川区立葛西第二中学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら進んで学ぶ生徒になろう</li> <li>あたたかい豊かな心の生徒になろう</li> <li>健康でたくましい生徒になろう</li> </ul>	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	生徒が喜んで活動し、一人ひとりの確かな学力や個性、社会性を伸ばし保護者・地域から信頼される学校 本校で学ぶことに誇りを持ち、主体的に粘り強く、豊かな社会性や思いやりをもった生徒 生徒一人ひとりの成長やそれを支える教育活動に最大の努力を惜しまない教師
前年度までの本校の現状	成果	課題	①教職員の情報共有を一層円滑に実践し、教育活動の多くを新型コロナ以前の状態に戻すことができた。 ②校舎改築による令和6年度からの学校生活に対する不安を払拭するため、目標と見通しを定めた教育活動の実践を図り、大きな混乱のない年度を終えることができた。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価（A～D）		「中間」学校関係者評価（A～D）		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	「教員の学習指導力向上と生徒の学力向上」 ○全国学力・学習状況調査・江戸川区学力調査の活用	各取組みの結果分析に基づいた指導の充実と、教員の学習指導力の向上を図る。	・全国学力・学習状況調査における東京都の中央値以上60% ・取組見直しを年度に1回以上実施	60%		B	・数学62%で目標を達成することができた。国語は57.1%で未達成となった。 ・課題の検討し、今後の取組の見直しを行っている。	B	もう少し頑張って取り組んでももらえればと思う。					
	「CD層の学力向上に向けた取組み」 ○放課後補習教室 ○数学総合検定	・放課後補習教室の拡張事業（数学・英語）の充実 ・数学総合検定を活用した放課後補習教室と教員連携指導	・放課後補習授業の実施130回以上 ・数学総合検定1、2年2単元以上実施	40%		B	・9月末までの回数は55回である。 ・数学総合検定は11月より実施する。	B	適切な取組みと評価だと思う。					
	「読書科の更なる充実」	江戸川っ子 読書科コンクールの参加と、ビブリオバトルの充実実践。	・各学年ビブリオバトル年間1回以上の実施 ・よむYOMUワークシート30回実施	60%		A	・ビブリオバトルは3学期実施予定 ・よむYOMUワークシートは、前期15回は計画的に実施できた。	A	積極的に実施してもらいたい					
体力の向上	「東京都体育健康推進校」の充実実践 ○教員の指導方法の工夫改善	令和6年度、令和6年度東京都体育健康教育推進校に係る校内研修を充実させる	・ICT研修等指導力向上研修を年間5回以上実施	70%		A	・ICT研修の全体会は10月初旬で3回実施できている。 ・スキルだけでなく、授業力向上にもつながる授業研究を実施している。	A	適切な取組みと評価だと思う。					
	「東京都体育健康推進校」の充実実践 ○教員の指導力向上	令和5年度、令和6年度東京都体育健康教育推進校に係る授業研究を充実させる	・研究授業1回以上実施 ・授業研究3回以上実施。	70%		A	・国語、保健体育、理科の3教科で実施。今後も計画的に授業研究を実践する。 ・研究授業においては、現在検討中。	A	今後の声掛けをよりよくしてもらいたい。					
	「生徒の体力向上」 ○運動機会の充実	設校舎における、体力向上に向けた環境整備の実践する。	・屋内トランポリンの設置。 ・ラダーの常設	90%		A	・5月段階でトランポリン・ラダーの設置完了。 ・追加で握力関係のアイテムも設置完了	A	適切な取組みと評価だと思う。					
実現に向けた共生社会の推進	「合意形成と合理的配慮の充実実践」 ○組織的情報共有の充実	教員組織の生徒情報共有を生活化させ、授業ユニバーサルデザインの整備を整える。	・校内特別支援部会を年間30回以上実施 ・生活指導部会での生徒情報共有30回以上	50%		A	・特別支援部会9月末日まで13回実施 ・生活指導部会9月末日まで15階実施	A	適切な取組みと評価だと思う。					
	「復籍交流の充実」	鹿本学園との間接交流の充実を図る。	・紙面交流年間2回以上 ・取組アナウンス2回以上	80%		B	・紙面交流に関しては毎月紙面交流を実施している ・校内周知取組に関しては、今後実施予定	B	適切な取組みと評価だと思う。					
	「特別支援教室のスポークスマン活動」	特別支援教室巡回拠点校としての情報発信	・拠点だより作成 年間3回（各学期最低1回以上）	60%		A	・9月末までに3回発行済みのため、本年度発行5回を目標と再設定する。	A	適切な取組みと評価だと思う。					

不登校・いじめ対応の充実	組織的にいじめ、不登校生徒の対応実施を図っていく。	校内不登校対策委員会と校内特別支援部会の連携による未然防止、早期対応 校内いじめ対策委員による適切な実態対応	・校内特別支援部会を年間30回以上実施 ・生活指導部会での生徒情報共有30回以上	50%		A	・特別支援部会9月末まで14回実施 ・生活指導部会9月末まで15回実施	A	適切な取り組みと評価だと思う。				
	ヤングケアラーにたいする教職員の理解を深め、適切な実践を図る	・全員面接の実施 ・教職員に対する研修の充実 ・民生委員会との情報共有	・生徒全員面接12月までに実施 ・研修年2回以上 ・民生委員との会議1回以上	60%		A	・教員研修実施済み ・1年生生徒の動画視聴は実施済み ・聞き取りは12月までに実施予定	A	必要なことなので、しっかり取り組んでもらいたい 全員実施は大変だが、相談しやすくなる。				
	「未然防止のための取組（生徒の心のケア対応）」	・SC(スクールカウンセラー)による全員面接 ・本年度からのSC複数配置	全員面談実施 7月まで ・SC滞在 週2回程度	90%		A	・SC全員面接は計画通りに実施済み ・SC複数配置、行内体制の構築も大方完了	A	生徒とSCとのつながりの第1歩としてとても期待できる。				
学校(園)の開かれた地域社会の実現	「土曜日の充実」 ○学校公開、道徳授業 地区公開講座、各種行事の充実	土曜授業（行事含む）の学校公開などを学校HP、TETORUでの参観呼びかけ	土曜日学校公開（行事含む）年5回以上 参加状況の報告を学年だよりなどで発信	90%		A	・土曜授業3回、運動会1回の4回実施。来校者人数は「学校だより」で周知を行っている。	A	TETORUの連絡が明確で助かっている。				
	「スポーツマン活動の充実1」 学校HP・各便りの充実（教育活動の発信）	学校生活や食育に係る給食の情報など、学校生活を積極的に発信していく。	学校HPアクセス数 「目標15000」 「指標13000」	65%		A	・学校HP 9月末までの閲覧件数 97,411アクセス	A	どんどん取り組んでもらいたい				
	「スポーツマン活動の充実2」 学校HP・各便りの充実（教育や改革に関する会議の発信）	学校関係者評価委員会、学校評議員会、PTA本部役員会の内容広く発信していく	評議員 年3回 PTA本部役員会 年10回以上 関係者評価委員会 適宜	60%		B	・評議員第2回を10月実施予定 ・PTA本部役員会5回実施 ・関係者評価委員会2回実施	B	適切な取り組みと評価だと思う。				
教育の特色ある展開	葛西第二中学校で学ぶ事に誇りを持ち、向上心と自立心を持った生徒の育成	「プライド8」とし、愛校心や自己実現に向けて行動できる生徒を育成していく。	学校だより年間発行数30回以上で、「プライド8」の取組を発信していく。	60%		A	・学校だより17号発行済み ・プライド8特集は「第1号」と10月、3月発行号に掲載予定。	A	適切な取り組みと評価だと思う。				
	オフィシャルボランティアの充実実践	・校内、校外のボランティア活動への参加を呼び掛け、参加生徒の意欲を向上させる。	・校外ボランティア（自転車盗難0・地域運動会など）への参加累計生徒人数200名以上	30%		C	・自転車盗難0 25名 ・宇喜田・小島地区区民運動会18名 ・葛西まつり 22名（予定）	B	適切な取り組みと評価だと思う。				
	情操教育の充実	・外部人材を活用し、生徒の情操教育の充実をはかる。	・「二胡演奏会」1回 ・「ミュージカル俳優によるコンサート」1回	-		-	・今後計画的に実施予定	B	とても良い取組で応援している。				